

# みなとぴあボランティアレター 第31号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2016.11

今年の夏は暑かった！ボランティアのみなさまには、そんな暑さに負けず、夏イベントで大活躍していただきました。その様子をご紹介します。

## 7/24 暑気払い

毎年みなとぴあの芝生広場でビアガーデン風に開催してきましたが、準備や片付けはなかなかの力仕事です。お店での開催で良いのでは？という意見も出ており、今年は企画段階から幹事さんが検討を重ねてくださいました。屋形船などのアイデアも出ましたが、ひとまずたくさんの机や椅子は出さず、お花見のように敷物を広げての開催に決まりました。よりくつろいだ雰囲気、和気あいあいと宴会を楽しめたと思います。

幹事を引き受けてくださった近藤勲さん、秋山直美さん、おつかれさまでした！ありがとうございました。



日が暮れるとライトアップが楽しめます。  
各テーブルにもキャンドルの火が灯り、贅沢な時間を過ごしました。

## 8/21 みなとぴあの夏まつり ボランティアフェスティバル 2016

今年のボランティアフェスティバルは、はじめての夏の開催でした。

毎年秋に行っていましたが、この季節は市内各地で開催されるイベントと重なりやすく、昨年とはくに天候が悪かったこともあり、開催日を思い切って変更してはどうかという意見が多く寄せられていました。また、今年には旧新潟税関庁舎が工事で6月から見学できなくなっており、恒例だった2階部分「塔屋」の公開ができないため、それに代わってお客様に喜んでもらうプログラムが必要だという思いを、みなさん共通して持ってくださいました。

そのような課題を踏まえて、幹事の方々のアイデアとそれぞれのつながりから企画され、実現したのがこの「夏まつり」です。オープニングには早通中学校の生徒たちがダイナミックな総踊りを披露してくださり、にぎやかに夏まつりが始まりました。恒例のたいけんのひろばにおける体験プログラムと常設展示室でのガイドプログラムのほかに、芝生広場でお神輿かつぎや和太鼓打ちといったお祭り体験プログラムを企画し、またお祭りには欠かせない屋台も出店しました。そして塔屋見学に代わってイベントの目玉となったのは、新潟港湾・空港整備事務所のご協力によって実現した業務艇あさひの乗船体験でした。



1

- ①芝生広場全面を使った壮大な踊りでした。息の合ったキレイのある動きがとてもかっこよかったです。
- ②屋台のひとつはアイスのもも太郎！猛暑のため完売でした。委託販売で売り子はボランティアです。
- ③日和山小学校からお借りした和太鼓。芝生広場に和太鼓の音が響くと、一気にお祭り気分を盛り上げてくれました。



2



3

④業務艇あさひは、イベント開始前から行列ができるほどの人気でした。萬代橋や通船川の河口などをめぐりながら、ボランティアがご案内しました。

⑤⑥常設展示室では、手作りの時代衣装でご案内するクイズラリーを開催。展示室が異空間に！

⑦⑧たいけんのひろばでは、紙芝居、竹のおもちづくり、シュロの葉バッタ作り、むかしのあそび江戸紋切、紙けん玉づくりの体験プログラムを行いました。

⑨栄町町内会よりお借りしたお神輿を、子どもたちが力を合わせてかつぎました。同じくお借りしたハッピーを着て、最後は記念撮影会に。



4

#### スタッフアンケートより

\*船内では全員がガイドの説明に聞き入っていた。

\*お客様からは何度もお礼を言われましたので、満足されたかと思えます。

\*お神輿：参加した子のお母さんが帰って来て貴重な経験させられたと喜んでいました。



7



5



6



8

\*常設：来館者に喜んでもらい、リピーターとしてまた来館いただけるのではないかと目的は、すこしでも達成したのではないかと思います。何事も積み重ねが大事ですね。手作りの景品は、みなさん喜んでいました。

\*体験：どのコーナーも平均的に人が集まっていて盛況でした。



9

幹事の鎌田誠司さん、加藤厚司さん、荒木信夫さん、渡辺博さん、本当におつかれさまでした。ご協力くださった早通中学校総踊り様、日和山小学校様、栄町町内会様、新潟港湾・空港整備事務所様、株式会社セイヒョー様、吉村商店様、平成システム様、新潟紙芝居クラブ様に、深く感謝申し上げます。

## 8/6 湊祭復元事業 「三番組のまとい」キラキラパレード出場

文化庁「平成 28 年度文化芸術振興費補助金（地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業）」の交付を受け実施した「湊祭復元事業 2016」。そのメインイベントである「三番組のまとい」の新潟まつりキラキラパレードへの出場では、多くのボランティアの方々にご尽力いただきました。

旧蔵者である本町通十番町町内会の方からご協力をいただき、本番前の 7 月 27 日に組み立てと曳き回しのリハーサル、本番当日には早朝から集まって飾り部分の組み立てを行いました。そして一般募集した参加者も加わって、「わっしょい、わっしょい！」という元気なかけ声とともに柗谷小路を練り歩きました。

本事業は昨年度から引き続き取り組まれたもので、去年は、長い間収蔵施設で眠っていた部材をはじめて組み上げ、エントランスホールで展示しました。試行錯誤しながらのその作業も、やはりボランティアのみなさんに支えられて行われました。

今年は実際に曳き回すため、部材の修繕を行った上での作業です。新たな課題やハプニングを乗り越えて、本番当日、無事成功させることができました。いずれも非常に暑い中での重労働、本当にありがとうございました！！



1



2



3



4

- ①②館のバックヤードでの組み立てのリハーサル。土台は左右前後でバランスよく木材を組み上げる必要があります。三番組と書かれたまといを立ち上げるのは一番の大仕事。
- ③本番当日、待機場所への移動の様子。
- ④多くの見物客が沿道から見守る中、みんなで組み立てたまといのお披露目です。

### 【編集後記】

31 号では、ボランティアのみなさまの真夏の奮闘の様子をお伝えしました。とくに、今年のボランティアフェスティバルはまさに「挑戦」でした。イベント後のスタッフアンケートでは、もちろん反省点も多く寄せられています。また次へとつなげていくことができそうです。（中村）

2016. 4. 6 現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港 150 周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

